

うす霧や（与謝野晶子）

解説 謝野鉄幹・晶子夫妻は、昭和七年に阿蘇を訪れこの詩を読みました。

うす霧や 大観峰に よりそいて

語釈 ※うす霧Ⅱ薄く霧が立ちこめる。※大観峰Ⅱ熊本県阿蘇市にある山。阿蘇北外輪山の最高峰であり、阿蘇カルデラやそのカルデラ壁、そして中央火口丘である阿蘇五岳をはじめ、九重連山も一望することができる。※ほのⅡほのかに。かすかに。ちよつと。※阿蘇山荘Ⅱ故永田巳平氏宅。

朝が ほの さく 阿蘇の 山荘

通釈 薄く霧が立ちこめる大観峰に夫婦でよりそい。山荘に宿泊し、次の日の朝、大観峰はかすかに見える眺めであった。